

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	ご家族への情報発信において、ご意見やご希望をより気軽にいただける仕組みが必要。運営推進会議、グループホームの取り組みなどを報告したことに対して、ご家族からの返信、ご要望をいただけるように取り組む。	グループホームでの情報を発信する際、報告をさせていただいたご家族等が、ご意見やご希望を返信しやすくする。次回の会議、報告にご家族のご意見が反映していくように行いたい。	報告を行う郵送の際、返信用封筒を活用してご家族からのご意見やご希望をいただけるように取り組む。面会の方法を、オンラインを推奨していき気軽に顔を合わせて情報交換をしていけるように努める。	12ヶ月
2	5	身体拘束防止会議の議事録について閲覧方式としていたが、スタッフ全員が周知したことを確認するための閲覧したサイン、確認印がない。	スタッフ全員が周知することが大切であり、周知状況を確認できるようにする。	議事録に確認印を押印できる欄を作成し、スタッフ各位が確認後に押印する。会議内容によっては、スタッフがコメントが書けるように工夫する。	12ヶ月
3	22	ここ数年はコロナウイルスなどの感染状況を考えながら外出の支援をしているが、頻度も少なく、場所も限られている。	コロナウイルスのリスクが無くなったわけではないが、生活の中で外出は普通にあるものだと考える。感染予防に留意した上で、本来の普通の生活をしていただけるように支援したい。	感染予防のため検討する項目はあるが、季節に合わせた外出、馴染みや思いのある場所への外出を計画したい。グループホームとして適正な感染予防を実施した上で、通常の生活に戻っていけるように努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。